

2008年2月18日

株式会社カウネット

カウネット、お客様のポイントを森林整備に活用

昨年度、約10ha(東京ドーム約2.1個)分の整備が可能な寄付金を贈呈

コクヨグループの株式会社カウネット(本社:東京都品川区/社長:勝村真信、以下カウネット)は、同社のポイントサービス「ポイントアップコレクション」(注1)に、コクヨグループが高知県にて取り組んでいる森と地域の再生活動「コクヨ-四万十・結(ゆい)の森プロジェクト」(注2)への寄付を昨年8月からポイント交換メニューに加えましたが、12月末時点で137件のお客様から申込がありました。カウネットはこのポイントを寄付金として大正町森林組合(高知県高岡郡四万十町/組合長:山本静男)に贈呈し、同組合はこれを「結の森」の森林整備や間伐に活用します。今回の寄付金によって間伐できる森林の面積は約10ha(約100,000㎡)となり、これは東京ドーム約2.1個分に相当します。

カウネットは、今後もこの活動を継続するとともに、このような取り組みを通じて環境保護活動への貢献を図ります。

(注1)「ポイントアップコレクション」

法人向けオフィス通販「カウネット」の月間お買い上げ金額100円で1ポイントが付与され、賞品への交換や値引きなどに利用できるサービスです。

(注2)「コクヨ-四万十・結の森プロジェクト」

2006年4月に、コクヨと高知県、大正町森林組合の3者間で基本合意書を締結し、四万十町を運営協議会メンバーに加えて実施している活動です。四万十川流域に一定面積のモデル森林「結の森」を設定して間伐等の森林整備を行うとともに、切り出される木材を利用した商品開発等の事業を展開することで、自然環境と地域社会の再生を目指しています。